

広域連系系統等の作業停止計画 調整・確認結果について (2021・2022年度の年間計画)

2021年 3月 1日

電力広域的運営推進機関

- 1 年間作業停止計画の調整・確認について
- 2 年間作業停止計画の調整・確認結果
 - (1) 広域調整対象作業停止計画
 - a 調整・確認状況
 - b 調整案に対する申出状況及び不調件名
 - c 主要作業件名
 - (2) 一般送配電事業者調整対象作業停止計画
 - a 調整・確認状況
 - b 不調の解決に向けた対応の依頼状況
 - (3) 調整・確認結果

■ 広域機関が取りまとめ、確認、承認する作業停止計画

- 本機関は、広域連系系統及び連系線の運用容量に影響を与える電力設備（広域連系系統等）の作業停止計画の取りまとめを行う（業務規程第156条第1項）
- 本機関は、作業停止計画の最終案を受け取ったときは、広域連系系統等の作業停止計画を取りまとめ、別表 1 1 - 2 で定める期日までに、これを確認の上、承認する。（業務規程第161条3項）

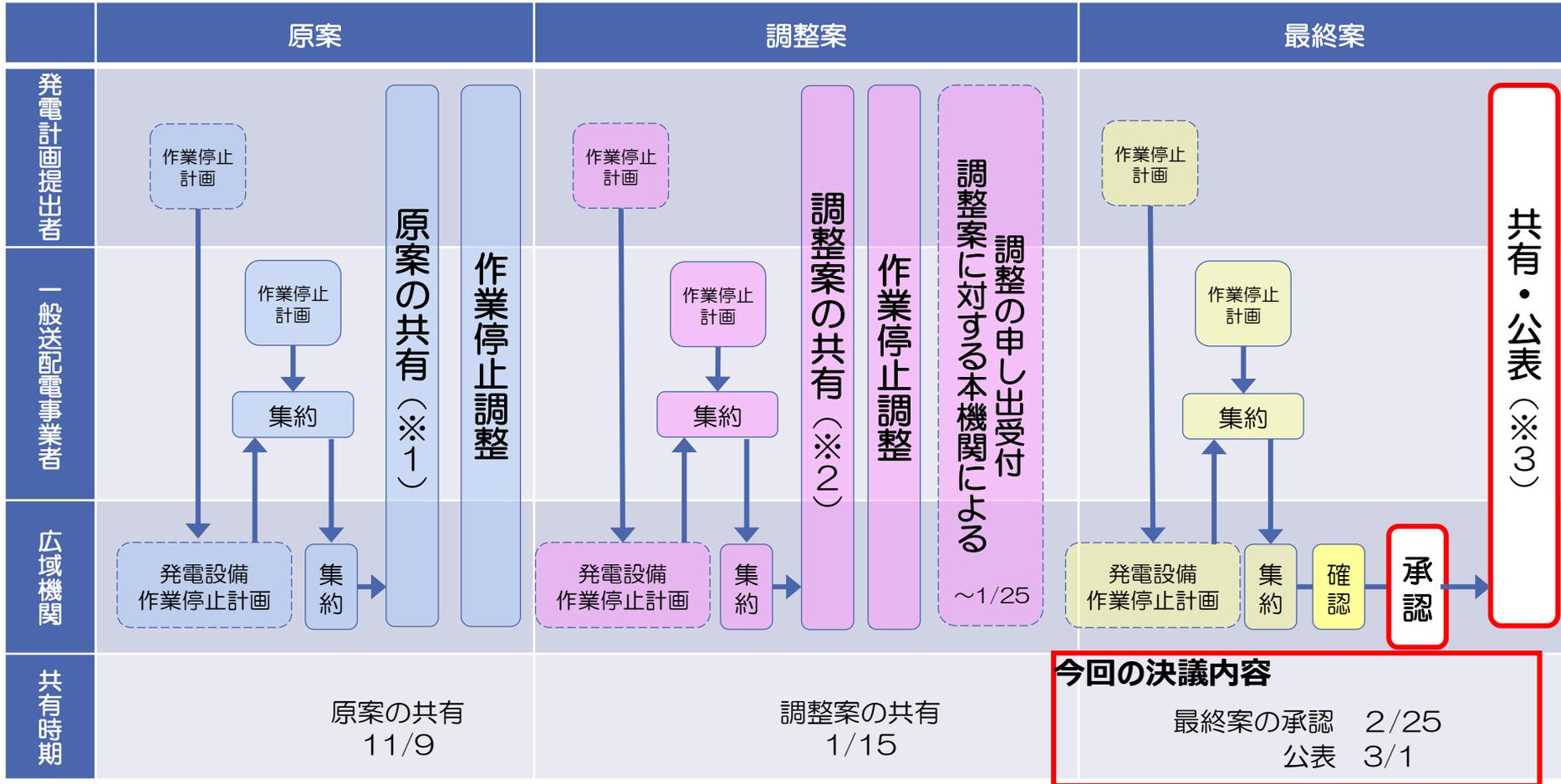
（今回の決議事項）

■ 作業停止計画の調整等

- 本機関は、①広域連系系統等のうち、連系線の運用容量に影響を与える広域連系系統等の作業停止計画の調整（広域調整対象作業停止計画）を行う。（業務規程第156条第2項）
- 一般送配電事業者は、②連系線の運用容量に影響を与えない電力設備の作業停止計画の調整（一般送配電事業者調整対象作業停止計画）を行う。（送配電等業務指針第229条）
- 本機関は、共有された広域連系系統等の作業停止計画の調整案に対して、発電計画提出者から再調整の申出があった場合は、再調整を行い、必要に応じて見直しを求める。（業務規程第160条）
- 本機関は、一般送配電事業者調整対象作業停止計画について、一般送配電事業者から不調の解決に向けた対応の依頼があった場合は、調整に向けた対応を行う。（業務規程第164条）

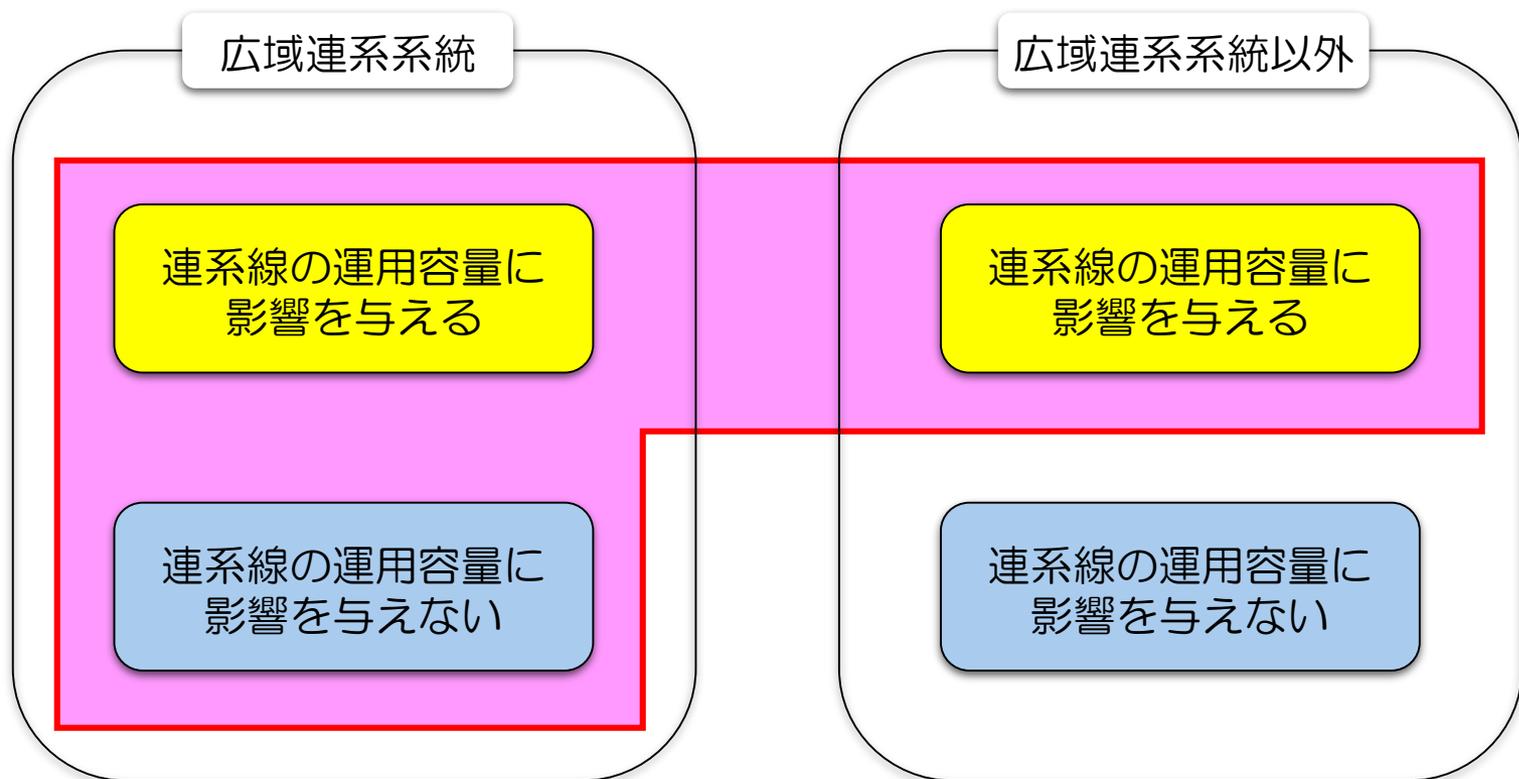
- 原案受領から理事会承認後の公表に至る業務フローは次スライドのとおり。

■ 原案受領から理事会承認後の公表に至る調整・確認フローは以下のとおり。



- ※1：広域連系系統等の作業停止計画原案を会員その他の関係する電気供給事業者その他作業停止計画提出者と共有（業務規程第157条第3項）
- ※2：広域連系系統等の作業停止計画調整案を会員その他の関係する電気供給事業者その他作業停止計画提出者と共有（業務規程第159条第3項）
（調整案に対して、発電計画提出者から本機関による作業停止調整を申し出る場合の申出期日を1/25として共有）
- ※3：広域連系系統等の作業停止計画を会員その他の関係する電気供給事業者その他作業停止計画提出者と共有（業務規程第162条第2項）
系統情報の公表（業務規程第168条）

-  広域連系系統等（広域機関が取りまとめ、確認、承認）
-  ①広域機関調整対象作業停止計画
-  ②一般送配電事業者調整対象作業停止計画



余 白

- 1 年間作業停止計画の調整・確認について
- 2 年間作業停止計画の調整・確認結果
 - (1) 広域調整対象作業停止計画
 - a 調整・確認状況
 - b 調整案に対する申出状況
 - c 主要作業件名
 - (2) 一般送配電事業者調整対象作業停止計画
 - a 調整・確認状況
 - b 不調の解決に向けた対応の依頼状況
 - (3) 調整・確認結果

- 広域調整対象作業停止計画について、送配電等業務指針第244条（作業停止計画の調整における考慮事項）の規定に基づき、下表のとおり、各項目の内容を確認し、停止時期や期間、同調作業停止の調整を実施した。
- その結果、以下の各項目について妥当なものと判断した。

送配電等業務指針に定める考慮事項 (第244条)	広域調整対象作業停止計画	
	主な確認ポイント	広域機関確認結果
1. 公衆安全の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作業の必要性 ・ 安全の確保（実施時期、作業期間等） 	○
2. 作業員の安全確保		
3. 電力設備の保全		
4. 作業停止期間中の供給信頼度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各エリアにおける複数連系線の同時停止回避 ・ 同一停止区間の作業同調 ・ エリア需給状況を考慮した作業実施時期 ・ 重負荷期作業実施時の供給力、予備力 	○
5. 作業停止期間中の調整力		
6. 作業停止期間中の一般送配電事業者の供給区域の供給力		
7. 需要の抑制又は停止を伴う作業停止計画における需要家の操業計画		
8. 発電の抑制若しくは停止又は市場分断の回避	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発電設備停止作業との同調 ・ 連系線の重潮流時期の回避 	○
9. 作業停止期間の短縮及び作業の効率化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作業の内容、工程、工法 ・ 同一停止区間の作業同調 	○
10. 電気供給事業者間の公平性の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発電出力抑制時の抑制箇所及び抑制量 	○
11. 複数の連系線の同時期の停止の回避	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各エリアにおける複数連系線の同時停止回避 	○

2(1)b 調整案に対する申出状況（広域調整対象作業停止計画）

- 2021年1月15日に共有した調整案に対し、発電計画提出者から本機関による再調整の申出（1月25日〆切）は、以下のとおり。

- **広域調整対象作業停止計画：0件**

- ただし、**一部の一般送配電事業者調整対象作業停止計画（70件）に対し申出が1件あった**ため、広域機関は関係者から経緯等の詳細を確認し調整を進めているが、合意は得られず調整が継続となったため、年間作業停止計画の承認時においては調整未完了とする。

項目	件数
広域調整対象作業停止計画の調整案に対する再調整の申出	0件

余 白

2(1)c 2021年度主要作業件名 (広域調整対象作業計画)

【凡例】 : 連続作業 : 毎日作業・単日作業 ※各○数字は次ページで作業内容記載

制約箇所		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
本北海道	北本		 ①5/13~28 第1群 ②5/23~28 第1種					 ③8/30~10/25 2L	 10/27~11/2 帰線					
	新北本			 ①6/18~30 新北本										
東北東京間		 4/12~16 相福幹線1L 4/20~23 相福幹線2L 4/19~25 南いわき幹線1L 5/6~12 南いわき幹線2L	 6/14~16 相馬双葉幹線1L 6/17 相馬双葉幹線2L 6/12 いわき幹線2L 6/3 東福島支線1L 6/4 東福島支線2L	 9/6~15 川内線1L 9/16~25 川内線2L 10/19~22 いわき幹線1・2		 10/12~15 吾妻幹線1L 10/19~22 吾妻幹線2L 11/9~11 西仙台MT1 11/16~18 西仙台MT2 号端子開放 11/16~18 新福島3B		 11/16~18 いわき幹線1L 11/19~21 いわき幹線2L ①12/14~3/18 相福幹線1L 12/8~9・12/10~16 新福島2B						
東京中部間	佐久間	 4/8~9 FC							 10/25~27 FC	 12/2~4 FC ①1/11~5/18 FC				
	新信濃	 4/17 中信全て北部系統切替	 4/26~30	 ①5/31~6/11 2FC				 10/18~19 2FC	 11/22~26 馬瀬北部1L 11/27~12/1 馬瀬北部2L ②11/22~12/1 1FC					
	東清水			 5/26 FC				 ①10/4~15 FC						
	飛騨信濃								 11/1・11/15 双極 ①11/1~15 1極					
中部関西間		 4/21~22 三重東近江1L・2L交互 (1・2L運用停止: 連続)												
中部北陸間		 4/4~8 BTB (交流連系) 4/21~22 BTB (交流連系)		 ①6/13~30 BTB ②8/28~9/30 BTB (交流連系)				 ③10/6~12/9 BTB (交流連系)						
北陸関西間		 4/4 越前500甲母線 (1・2L運用停止) 4/5~8 越前500乙母線 (1・2L運用停止)			 ①8/28~9/30 越前嶺南線2L (1・2L運用停止: 連続)			 ②10/6~12/9 越前嶺南線1L (1・2L運用停止)						
関西中国間		 3/1~4/15 日野幹線1L 6/7~8・6/9~10 西播東岡山線1L	 6/15~18 西播東岡山線2L 6/21~24 中国東幹線2L 6/28~7/1 中国東幹線1L	 9/6・9/7~10・10/29 新岡山幹線1L ①9/11~10/28 新岡山幹線2L			 ②3/1~4/13 日野幹線2L							
関西四国間		 4/6~15 2極	 ①5/31~6/4 2L帰線 (双極) 6/7~11 2L											
中国四国間		 4/3 1L ①4/16~29 2L	 ②4/30~5/30 本四連系線1L 6/5 本四連系線2L					 11/11~12 本四連系線1L 11/15~16・11/18~19 本四連系線2L			 ③3/14~4/18 本四連系線2L			
中国九州間		 ①4/13~24 関門連系線1L ②5/11~22 関門連系線2L									 3/1 関門連系線1L 3/2 関門連系線2L			

(参考) 2021年度作業における主な調整結果

連系線		主な作業	調整内容
北海道本州間	北本	①：第1極遮断器（O-11）更新他 ②：北本七飯線1号CVT・CT，北本上北線1号CVT・CT更新 他 ③： <u>北本直流幹線2号線ケーブル一部張替他（A）</u>	<ul style="list-style-type: none"> ①②は同調して実施、高経年設備のため更新が必要。 ③は障害対策であり、極力重負荷期を避け、早期に実施。
	新北本	①：交直変換設備 3年目点検 他	<ul style="list-style-type: none"> 重負荷期を避け定期的に実施。
東北東京間		①： <u>南相馬変電所 線路側，母線側LS取替（B）</u>	<ul style="list-style-type: none"> 定格短時間電流超過対策（2022年度末までに実施）。 運用容量への影響は少ないため重負荷期であるが実施。
東京中部間	佐久間	①： <u>FC制御保護装置更新（C）</u>	<ul style="list-style-type: none"> 経過年数から計画的な更新が必要。夏季重負荷期および他直流設備との重複停止を避けて最短工期で実施。冬季供給力確保。
	新信濃	①：チラー空調改造 他 ②：1号FC取引用CT、VT検定 Wh計取替	<ul style="list-style-type: none"> ①は冷媒全廃のため改造が必要。重負荷期を避けて実施。 ②は法令順守により必要。重負荷期を避けて実施。
	東清水	①：サイリスタバルブ関連機器点検（交流）	<ul style="list-style-type: none"> 重負荷期を避け定期的に実施。
	飛騨信濃	①：初回点検	<ul style="list-style-type: none"> 他直流設備停止との重複を回避。
中部北陸間		①：BTB定期点検 ②③：北陸系統 中部北陸連絡母線による交流連系に伴う停止	<ul style="list-style-type: none"> ①は定例的に必要。重負荷期を避けて実施。 ②越前嶺南線作業に伴う南福光交流連系。
北陸関西間		①：加賀幹線電線地線張替他に伴う保安停止 ②： <u>越前嶺南線No.75～No.116電力線他張替工事（D）</u>	<ul style="list-style-type: none"> ①は近接区間であり安全上必要。機器定期点検を同調。 ②は老朽取替で早期に必要。一定区間に区分して複数年で実施。
関西中国間		①：新岡山幹線2L遮断器取替工事 ②：日野幹線2L遮断器取替工事	<ul style="list-style-type: none"> ①②遮断器の老朽取替。引出線の取り回しやスペースの都合で元位置取替。
関西四国間		①：2極帰線PCT補助盤A/B、2極帰線PCT点検	<ul style="list-style-type: none"> 1極帰線停止中（漏油）により双極停止となるため最短日数で実施
中国四国間		①②③：ケーブル接続部細密点検他	<ul style="list-style-type: none"> ①②③は重負荷期を避け、天候安定期に定期的に実施。
中国九州間		①②：送電線補修工事	<ul style="list-style-type: none"> ①②は設備保全のため必要。天候安定期に実施。

(A) 主要作業概要：北本直流幹線2号線ケーブル一部張替他 13

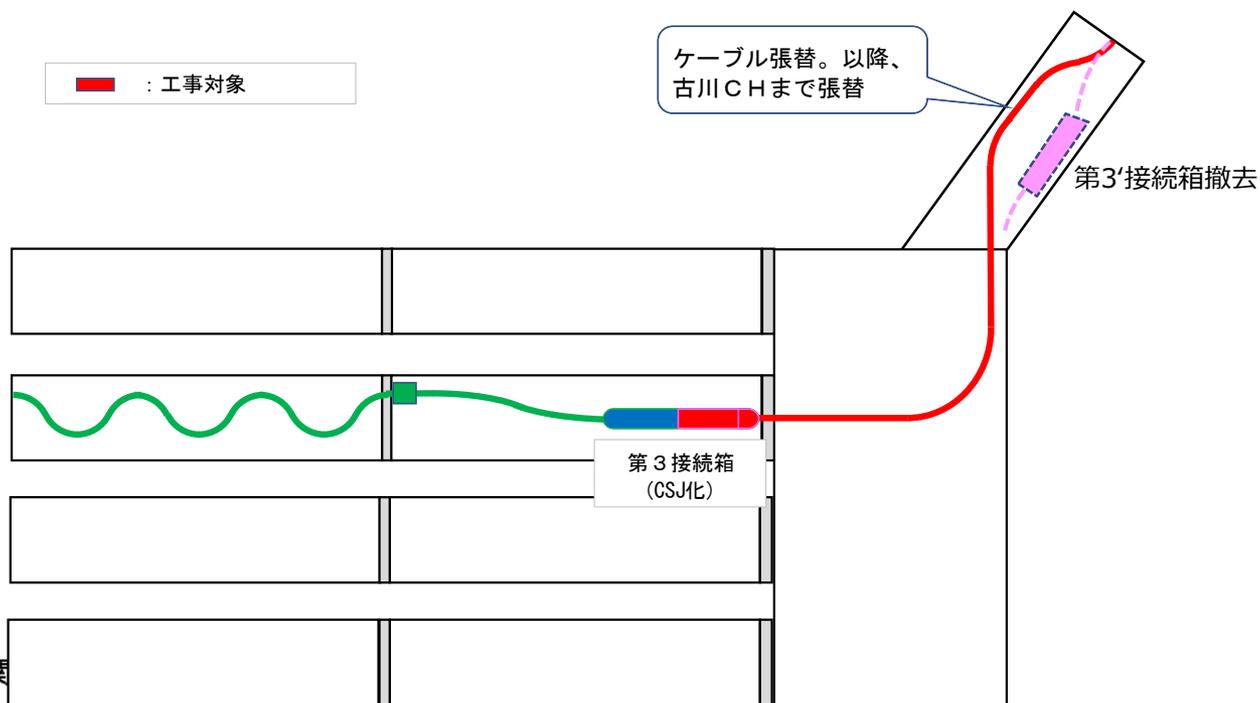
項目	内容
作業箇所	北本直流幹線
作業内容	北本直流幹線2号線ケーブル一部張替他
停止区間	北本直流幹線2号線
作業停止期間	2021年8月30日 6:30 ~ 10月25日 18:30 (57日間連続)
作業の必要性	2019年度に計画していた北本直流幹線2号線 (Bケーブル) 渚接続箱CSJ化対策工事は、冬季間の作業を回避するためケーブル張替 (OFケーブル) の一部を分割した。期間を分割するため仮設備として「第3'接続箱」を設置したが、長期使用を前提としていない設備であることと、陸上ケーブルについては異常 (微量のアセチレンガスが検出) もあるため、早急に実施する必要がある。
作業日程 設定理由	重負荷期を避けて実施

陸上ケーブル張替工事

工事範囲：第3接続箱（陸側）～第2接続箱～古川CH（終端接続箱）間

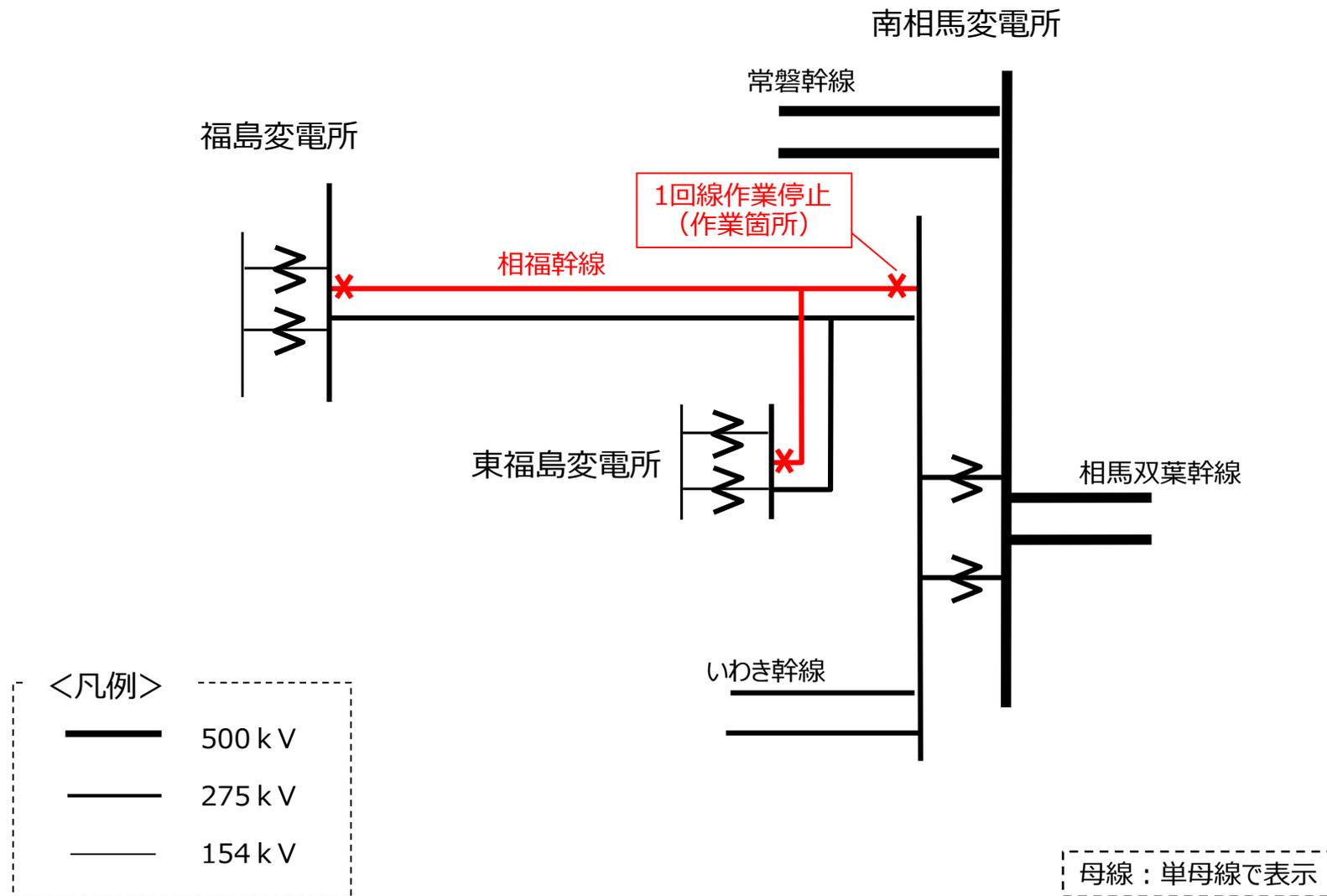


作業内容：陸上ケーブル張替工事（第三入孔～古川CH）および終端接続箱改修



項目	内容
作業箇所	南相馬変電所
作業内容	C B, 線路側・母線側 L S 取替
停止区間	相福幹線 1 回線
作業停止期間	相福幹線 1 号 : 2021年12月14日 ~ 2022年 3月18日 (95日間) 2022年 7月 1日 ~ 2022年 8月26日 (57日間) 相福幹線 2 号 : 2022年12月 1日 ~ 2023年 3月17日 (107日間)
作業の必要性	南相馬変電所 相福幹線 1 号および 2 号の遮断器・断路器については、2023年度以降、定格遮断電流・定格短時間電流を超過する見込みとなったことから、2022年度内に増強が必要。
作業日程 設定理由	遮断器・断路器の納期を確保のうえ、東北東京間連系線運用容量への影響を極力回避した期間で取替工事を実施。

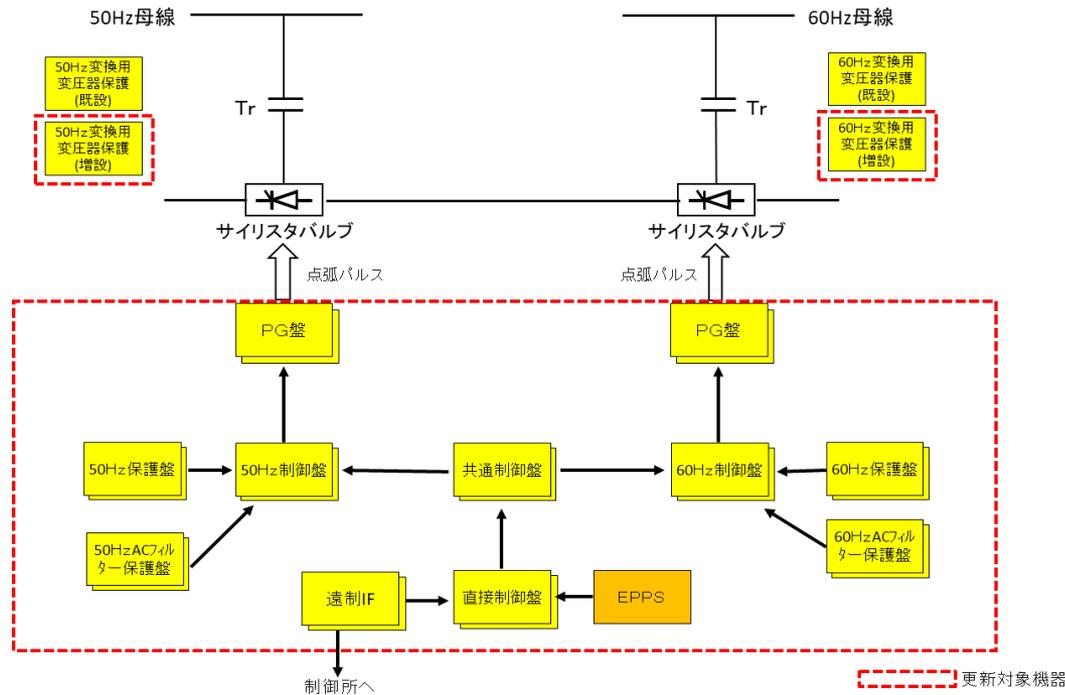
【概略図】



項目	内容
作業箇所	佐久間FC
作業内容	FC制御保護装置更新
停止区間	佐久間FC
作業停止期間	2022年1月11日 8:00 ～ 2022年5月18日 20:00（連続128日間）
作業の必要性	<p>佐久間FC は1993 年に主要な屋外機器と制御保護装置一式を更新しており、制御保護装置の大半が数年内に製作者保守対応が終了すること、2017 年2 月のPG 装置故障の起因によりFCが緊急起動できなかつた等、至近において制御保護盤等の装置故障が増加傾向にあり、寿命期と考えており更新が必要である。</p> <p>【主な作業内容】</p> <ul style="list-style-type: none">①新設盤据付,現地単体試験,組合せ試験,現地シミュレータ試験②新設盤制御ケーブル他敷設,接続③既設盤制御ケーブル他離線,撤去④模擬運転試験, 低圧通電試験、遠方対向試験⑤系統連系試験 (起動停止試験,保護連動試験,基本制御特性試験,冗長性確認試験,系統制御試験、遠方操作試験他)
作業日程 設定理由	<p>更新時期については各社直流設備更新計画と調整した。</p> <p>夏季重負荷期を避け設定し、直流技術員の確保および他直流連系設備との重複停止を回避して実施。</p>

概略工程表

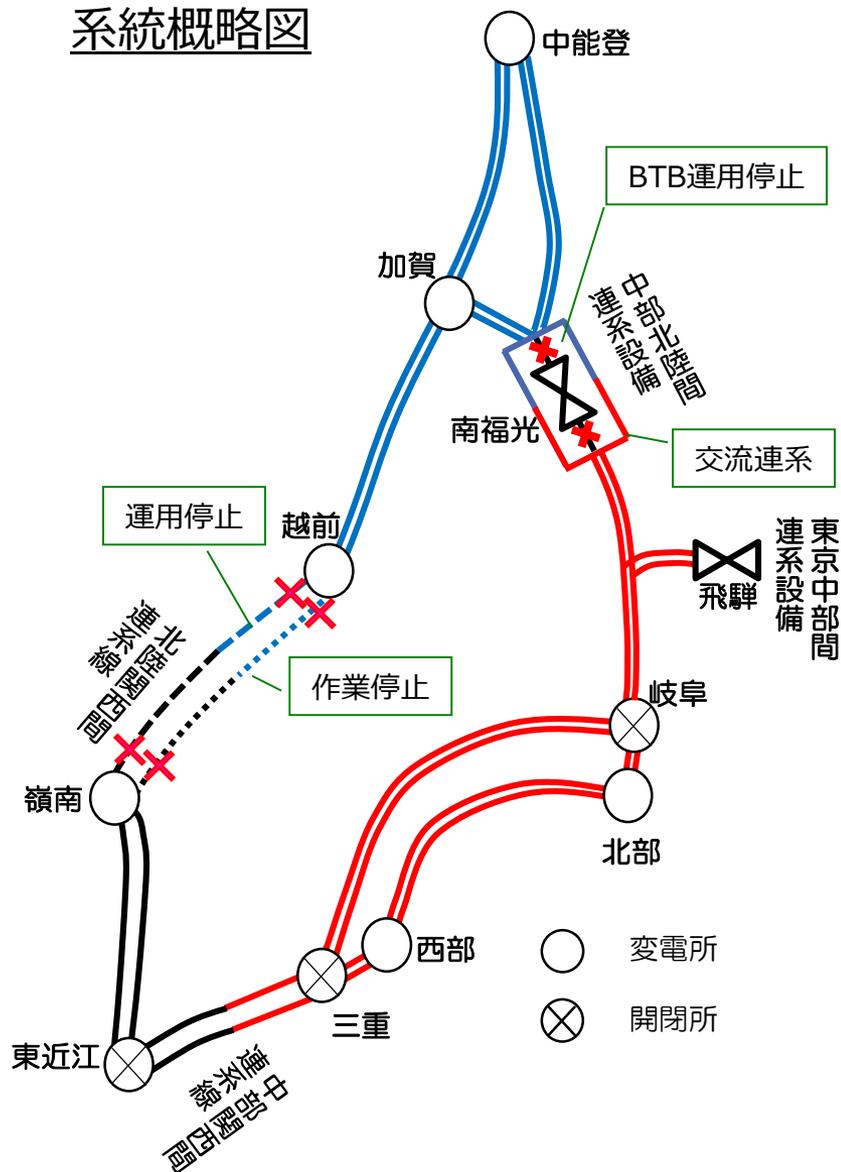
		2022年					備考
		1月	2月	3月	4月	5月	
停止設備	佐久間FC	1/11	—————				5/18
工事項目	ゲートバルブ発生装置取替、試験	—————					別位置更新困難
	DCWT、DCCT更新	—————					
	新旧切替、各種試験	—————					
	遠方操作試験、模擬運転試験			—————			
	系統連系試験				4/14	—————	5/18
	定期点検、各種補修	—————	—————	—			同調作業



概略図(佐久間FC 直流制御保護装置更新)

項目	内容
作業箇所	越前嶺南線
作業内容	越前嶺南線 No. 75～No. 116 電力線他張替工事
停止区間	(a) 越前嶺南線 1 L (b) 越前嶺南線 2 L
作業停止期間	(a) 2021年10月6日 8:00 ～ 2021年12月9日 18:00 (連続65日間) (b) 2022年9月17日 8:00 ～ 2022年11月27日 18:00 (連続72日間)
作業の必要性	越前嶺南線の設備は1974年の運用開始から経年47年であり、腐食により老朽化が進んでいることから設備事故防止のため電力線張替が必要。
作業日程 設定理由	関連系統作業との重複を避けて実施

系統概略図



- 北陸関西間連系線 1 回線停止時の運用
 - N-1故障発生時のルート断や、北陸フェンス運用容量の大幅な低下を回避するため、北陸関西間連系線を1回線停止する場合は、北陸関西間連系線をルート開放し、南福光地点で交流連系する。(BTBは運用停止)

連系線	主な作業	調整内容
北海道本州間	北本 ①：第1極遮断器 (O-13) 更新他 ②：北本七飯線 1号制御保護用CVT更新 他 ③④：電線張替	<ul style="list-style-type: none"> ①②は同調して実施。 ③④は電線腐食が確認されており計画的な実施が必要。北本作業との同調だけでは作業必要日数を確保できないことから重負荷期を避けて実施。
	新北本 ①：設備点検	<ul style="list-style-type: none"> 重負荷期を避け定期的に実施。
東北東京間	<u>①：南相馬変電所 CB取替 (B)</u> <u>②：南相馬変電所 CB, 線路側・母線側 LS取替 (B)</u>	<ul style="list-style-type: none"> ①②定格短時間電流超過対策。(2022年度末までに実施) ①②運用容量への影響は少ないため重負荷期であるが実施。
東京中部間	佐久間 ①：サイリスタバルブ他定期点検	<ul style="list-style-type: none"> 重負荷期を避け定期的に実施。
	新信濃 ①：2号BSS (系統安定化装置) 取替他 ②：1号BSS (系統安定化装置) 取替他 ③： <u>信濃ルート作業による系統信頼度確保 (E)</u>	<ul style="list-style-type: none"> ①②設備更新計画により実施。定期点検に同調して実施。 ③リア中央新幹線関連作業。東清水FC停止との重複を回避。
	東清水 ①： <u>制御盤・保護盤取替 / 2FC切替 (F)</u> ②： <u>制御盤・保護盤取替 / 2FC系統連系試験 (F)</u>	<ul style="list-style-type: none"> 経過年数から計画的な更新が必要、重負荷期となるが供給力は確保して実施。新信濃FC制約作業との重複を回避。
	飛騨信濃 ①：初回点検	<ul style="list-style-type: none"> 他直流設備停止との重複を回避。
中部北陸間	①④：交流連系に伴う停止 ②：GIS12年点検、ShR・GIS操作機構分解点検他 ③：3Tr6年点検、CB5173操作機構分解点検他	<ul style="list-style-type: none"> ①④越前嶺南線作業に伴う南福光交流連系。 ②③設備点検のため同調不可。②にBTB定期点検を同調。
北陸関西間	①：500kV母線保護装置取替 ②： <u>越前嶺南線No.75～No.116電力線他張替工事 (D)</u>	<ul style="list-style-type: none"> ①装置経年により取替実施。重負荷期を避けて実施。 ②老朽取替で早期に必要。一定区間に区分して複数年で実施。
中国四国間	①： <u>ケーブル張替他 (G)</u>	<ul style="list-style-type: none"> 障害対応であり重負荷期を避け、天候安定期に定期的に実施。
中国九州間	①②：送電線補修工事	<ul style="list-style-type: none"> ①②は設備保全のため必要。天候安定期に実施。

※ 定期的なものではなく、1カ月以上の長期間に亘る下線付きの件名は、次頁以降にて詳細を記載

項目	内容
作業箇所	中信変
作業内容	信濃ルート作業による系統信頼度確保
停止区間	中信変 全て北部系統切替 ※新信濃 F C 60Hz→50Hz向き制約：最大60万kW制約（運用容量0万kW）
作業停止期間	2023年03月15日 00:00 ～ 2023年04月22日 24:00（連続39日間）
作業の必要性	中央新幹線への電源供給のため、下伊那分岐線新設に伴い分岐鉄塔である南信幹線の一部鉄塔の建替が必要となる。
作業日程 設定理由	2024年10月に下伊那変電所を運開するには、当該期間に作業を実施する必要がある。 南信幹線残回線事故時に新信濃FCから受電（50Hz→60Hz）する必要があるため、新信濃FC停止作業との同調は不可である。その他直流設備との重複停止を避けて実施。

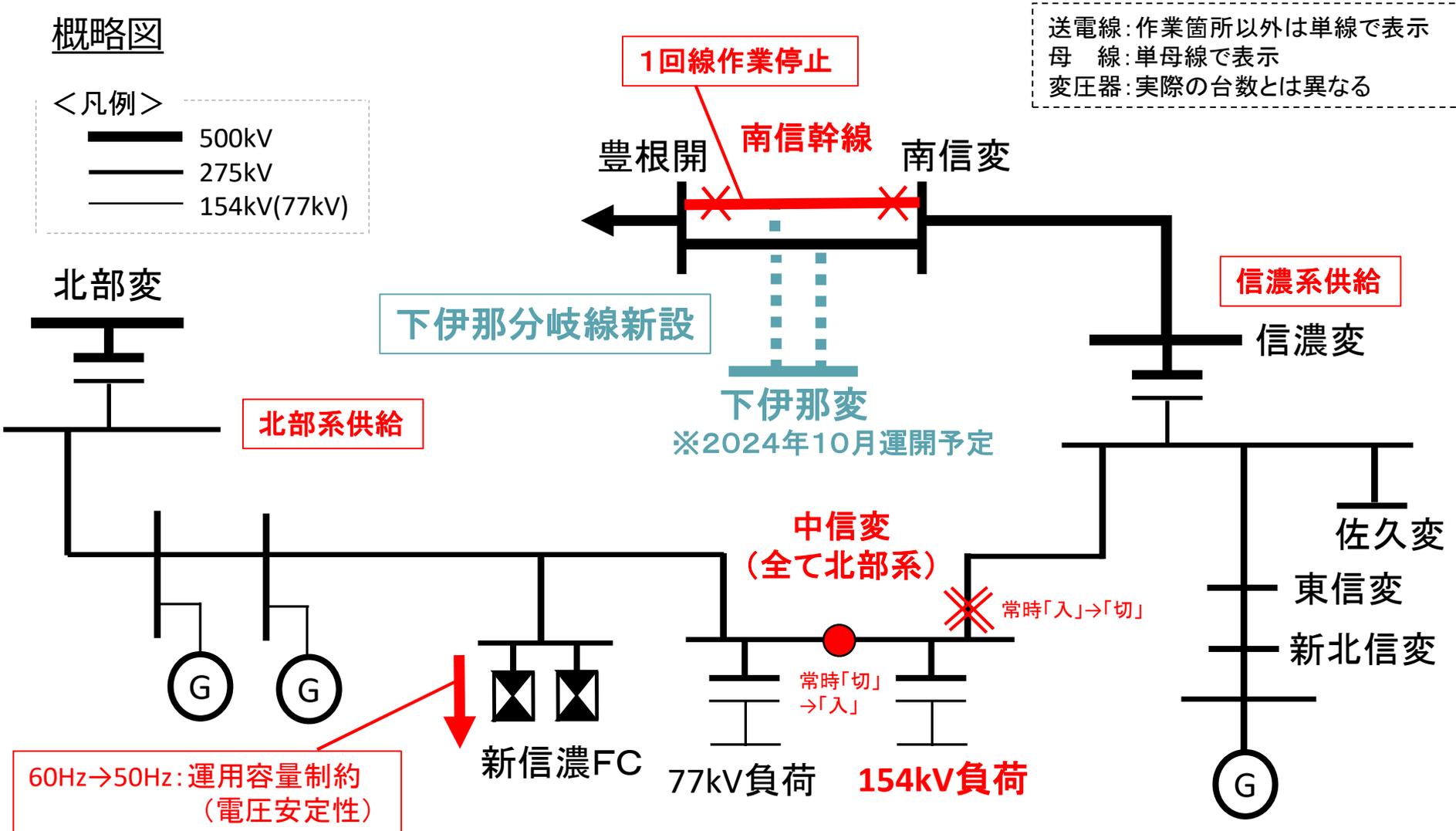
中信変電所の154kV負荷は常時は信濃系供給であるが、南信幹線1回線停止に伴い、供給信頼度の観点から、北部系供給へ切替。その結果、電圧安定性面から、新信濃FCに運用容量制約が発生。（新信濃FCが重潮流になると中信変の電圧が大きく低下する）

概略図

<凡例>

- 500kV
- 275kV
- 154kV(77kV)

送電線：作業箇所以外は単線で表示
母線：単母線で表示
変圧器：実際の台数とは異なる

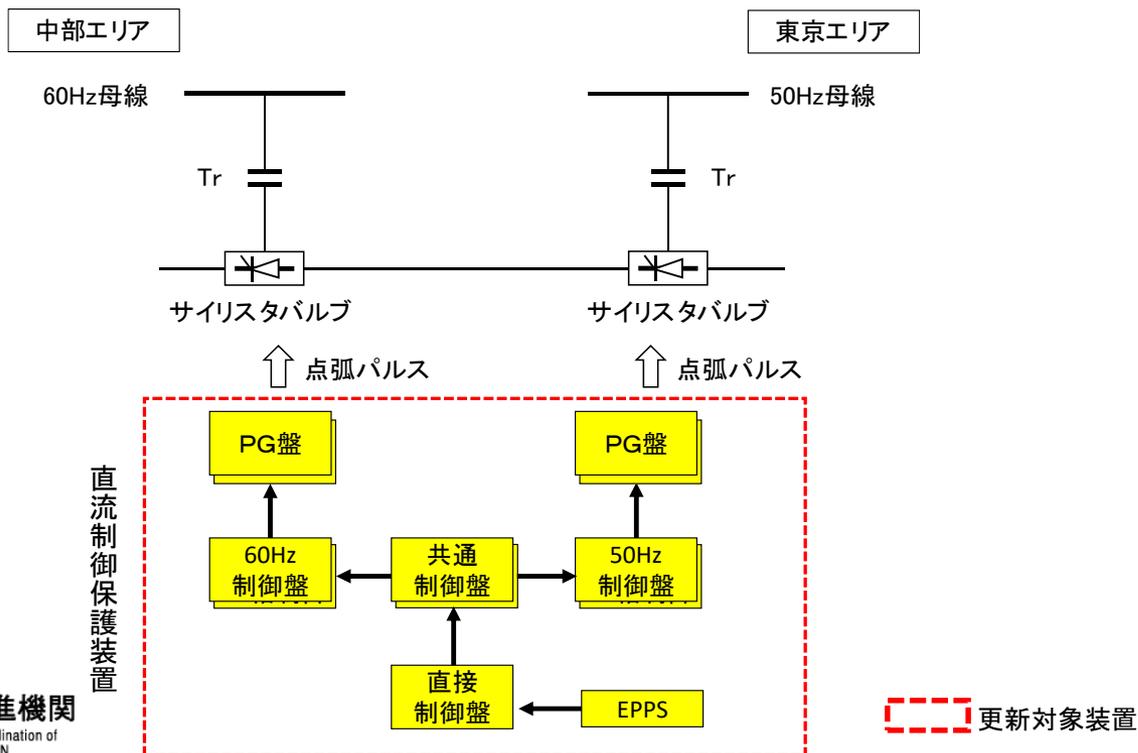


項目	内容
作業箇所	東清水変電所
作業内容	(a) 制御盤・保護盤取替／2 F C切替 (b) 制御盤・保護盤取替／2 F C系統連系試験
停止区間	2 F C
作業停止期間	(a) 2022年10月17日 08:00 ～ 2023年01月16日 09:00 (連続92日間) (b) 2023年01月16日 09:00 ～ 20230年3月14日 18:00 (連続58日間)
作業の必要性	東清水 F Cの制御保護装置は1996年製であり、主要部品の製造中止に伴う製作者による保守対応期限を迎えているため計画的に実施。
作業日程 設定理由	夏季重負荷期を避け設定し、直流技術員の確保およびその他直流設備との重複停止を回避して実施。 健全性を確認するため、1/16～3/14の計58日間試験を実施する。

概略工程表

		2022年度						備考
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	
停止設備	東清水 FC	17	████████████████████				14	
工事項目	PG盤取替・試験		████████████████					別位置更新困難
	新旧切替・各種試験		████████████████					
	遠方操作試験、低圧過電 試験、模擬運転試験			████████				
	系統連系試験				16	████████████████		14
	定期点検、各種補修		████████					同属作業

概略図

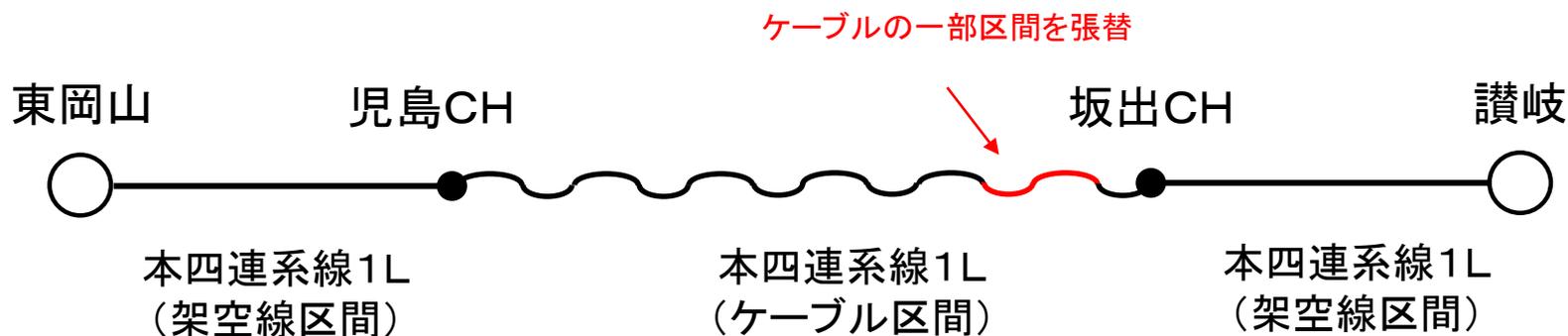


項目	内容
作業箇所	本四連系線 1 L
作業内容	一部区間ケーブル張替
停止区間	本四連系線 1 L
作業停止期間	2022年04月29日 08:00 ～ 2022年06月30日 09:00（連続63日間）
作業の必要性	設備の健全性確保のため、定期的にケーブル内の油中ガス分析を実施しており、分析データを踏まえた劣化の進展予測の結果、2022年度にはケーブルの一部区間張替が必要であると判断されたため。
作業日程 設定理由	可能な限り関連発電機停止期間に実施し、軽負荷期であるため上記期間での実施とする。 作業内容を行うため、作業規模により6 3日間の停止が必要。 関連地域間連系設備との重複停止を避けて実施。

概略図

中国エリア

四国エリア



【凡例】

- 変電所
- 500kV送電線 (架空線)
- 〰 500kV送電線 (ケーブル)
- ケーブルヘッド(CH)

- 1 年間作業停止計画の調整・確認について
- 2 年間作業停止計画の調整・確認結果
 - (1) 広域調整対象作業停止計画
 - a 調整・確認状況
 - b 調整案に対する申出状況及び不調件名
 - c 主要作業件名
 - (2) 一般送配電事業者調整対象作業停止計画
 - a 調整・確認状況
 - b 不調の解決に向けた対応の依頼状況
 - (3) 調整・確認結果

- 一般送配電事業者調整対象作業停止計画については、送配電等業務指針第244条（作業停止計画の調整における考慮事項）の規定に基づき、一般送配電事業者が下表のとおり、各項目の内容を確認し、停止時期や期間、同調作業停止の調整を実施。
- 当機関は、その調整が一部計画を除いて完了していることを、各一般送配電事業者に確認した。
- その結果、以下の各項目について妥当なものと判断した。

送配電等業務指針に定める 考慮事項（第244条）	一般送配電事業者調整対象作業停止計画	
	一般送配電事業者確認結果	広域機関確認結果
1.公衆安全の確保	○	○ (次シート参考のとおり)
2.作業員の安全確保	○	
3.電力設備の保全	○	
4.作業停止期間中の供給信頼度	○	
5.作業停止期間中の調整力	○	
6.作業停止期間中の一般送配電事業者の供給 区域の供給力	○	
7.需要の抑制又は停止を伴う作業停止計画にお ける需要家の操業計画	○	
8.発電の抑制若しくは停止又は市場分断の回避	○	
9.作業停止期間の短縮及び作業の効率化	○	
10.電気供給事業者間の公平性の確保	○	
11.複数の連系線の同時期の停止の回避	—	

- 本機関は、一般送配電事業者調整対象作業停止計画について、送配電等業務指針第244条（作業停止計画の調整における考慮事項）の規定に基づく調整が一部計画を除いて完了していることを、以下のとおり、最終案として2月12日に確認した。
- 調整未完了の作業停止計画は調整が完了次第、年間作業停止計画の変更（追加）として取り扱うこととする。

エリア	北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州	沖縄	合計
調整完了 件数	874 件	893 件	2370 件	2154 件	565 件	1229 件	571 件	809 件	2328 件	287 件	12080 件
調整未完了 件数※	0件	0件	0件	70件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	70件

※原案等で提出された件名のうち調整が完了していない作業停止計画

2021年度 (計 : 35件)

作業日	停電区間	作業内容
2021/10/4~2021/10/15	知多火力線 1 L	知多火力線No25~28間建替、電線張替
2021/10/4~2022/2/13	知多火力線 2 L	知多火力線No25~28間建替、電線張替他
2021/10/19~2022/2/13	知多火力線 1 L	知多火力線No25~28間建替、電線張替他
2021/10/19~2022/1/21	知多火力線 1 L	知多火力線No68建替・No66~68張替
2021/10/19~2022/1/21	知多火力線 2 L	知多火力線No68建替・No66~68張替
2022/2/26~2022/5/28	東名古屋東部 1 L	東名古屋東部No9~12、15~18、20~23建替・張替
2022/2/27~2022/5/29	東名古屋東部 2 L	東名古屋東部No9~12、15~18、20~23建替・張替

2022年度 (計 : 35件)

作業日	停電区間	作業内容
2022/9/26~2022/10/7	知多火力線 1 L	知多火力線No29~32間建替、電線張替
2022/9/26~2023/3/14	知多火力線 2 L	知多火力線No29~32間建替、電線張替他
2022/10/11~2023/3/14	知多火力線 1 L	知多火力線No29~32間建替、電線張替他

- 一般送配電事業者調整対象作業停止計画について一部計画は調整中であるが、一般送配電事業者から本機関へ不調の解決に向けた対応の依頼はなかった。

項目	件数
不調の解決に向けた対応の依頼	0件

1 年間作業停止計画の調整・確認について

2 年間作業停止計画の調整・確認結果

(1) 広域調整対象作業停止計画

a 調整・確認状況

b 調整案に対する申出状況及び不調件名

c 主要作業件名

(2) 一般送配電事業者調整対象作業停止計画

a 調整・確認状況

b 不調の解決に向けた対応の依頼状況

(3) 調整・確認結果

- 広域機関が取りまとめ、確認、承認する年間作業停止計画について
 - ①送配電等業務指針244条の作業停止計画の調整における考慮事項に基づいていること（シート8、30）
 - ②広域調整対象作業停止計画の調整案に対し、発電計画提出者から再調整の申出がないこと（シート9）
 - ③一般送配電事業者調整対象作業停止計画について、不調がないこと（シート33）

最終案として受領した一般送配電事業者調整対象作業停止計画において、調整を継続している案件（70件）がある。これらの作業停止計画を除いた年間作業停止計画については、確認事項①～③を確認し妥当と判断したことから承認する。また、調整を継続している作業停止計画は調整が完了次第、年間作業停止計画の変更（追加）として取り扱うこととする。